

## 第9回総会・五所川原大会の開催について 全日本協議会事務局協議結果(報告)

全日本プロバス協議会事務局は4月7日午後、北九州市内のホテルで事務局会議(古賀会長を含む事務局幹事5名)を開き、8月8日に青森県五所川原市で予定している第9回総会・五所川原大会の開催について協議しました。結論から申し上げますと、「新型コロナの第4波が始まっており、しかも変異株の大流行が懸念されている現段階で開催の是非を判断するのは難しい」という結論になりました。

協議はまず、先日の持ち回り常任理事会でのアンケート結果、それに、今年1~3月に五所川原プロバスクラブが集約された「総会・大会参加者名簿」等を参考にしました。

▽常任理事6名のアンケート結果によりますと、8月8日五所川原での予定通りの開催に「賛成する」が2名、「条件付きで賛成」4名、「反対する」1名(うち1名は賛成と条件付き賛成のダブル回答)でした。←添付資料参照を。

▽また、「総会・大会参加者名簿」では、21クラブ126名前後が参加を希望されております。前回第8回総会・三重大会の参加クラブ32クラブに比べると少ない気がしますが、今回の参加者数は五所川原プロバスクラブも含めると150名前後になるのではないかと推測されます。

上記のデータに従いますと、「予定通りの開催」となりそうですが、事務局幹事から次のような懸念が出されました。

▽新型コロナの第4波の流行が始まっており、第3波をしのぐ流行になるとの予測も出ている。

▽今回の再流行は感染力の強い変異型ウイルスによるものと言われ、大都市だけでなく、地方都市にも広がりを見せている。

▽参加者が100人以上もいれば、政府等の推奨する3密回避や社会的距離等の予防策は特に懇親会では難しいのではないかと。参加者のうち1人でも新型コロナ感染の陽性者が出れば参加会員全員がPCR検査を受けることになりかねず、社会的にも大きな問題に発展しそう。

▽参加費並びに宿泊費等を振り込んだ後に総会・大会が中止になれば、払い戻し等により大きな混乱が生じる。

新型コロナの流行がストップするとは考えられず、Withコロナと言われるように、心配すれば際限がないわけですが、いずれにせよ、結論を出さなければなりません。五所川原プロバスクラブが今月20日に実行委員会を開催し、参加クラブに参加者名と宿泊希望を問い合わせる文書等を発送する次の段階に踏み出す予定ですが、全日本事務局としては五所川原プロバスクラブの熱意に応えながら、どう対応すればよいか、次のように考えました。

▽新型コロナの変異株を含めた今後の感染状況の変化と、オリンピック・パラリンピックの開催の有無、ワクチン注射の進捗状況を全日本協議会事務局でもう少し見定める。

▽上記の判断のタイムリミットがいつか調べる。

①宿泊費の振込のタイムリミットはいつか、五所川原の実行委員会に問い合わせる。

②航空機予約のキャンセル料発生は何か月前までか、北九州プロバス等で調べる。(他のクラブからも情報を収集する)

▽従って、当面は

☆五所川原プロバスクラブの実行委員会は参加者名と宿泊希望を問い合わせる準備を進める。

☆参加費、宿泊費の振込はタイムリミットを考慮して少し遅らせる。

▽万一、オリンピックや立役武多が今後中止になった場合

☆第9回総会・五所川原大会の開催について五所川原プロバスクラブと全日本事務局が対応を協議する。

常任理事の皆様へお願い

以上が事務局会議の報告です。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、上記協議結果に関するご意見、ご提案等を賜りますよう、よろしくお願いいたします。出来れば14日前後までメールでいただければ幸いです。(松本忠拝)